

日本語における外来語

「外来語」とは、もとは外国語で、日本語に用いられるようになった語のことである。その意味では漢語も、その多くは、中国語やサンスクリットなどが中国・朝鮮経由で伝来したものであり、広義の外来語に含めることができる。しかし習慣的に、漢語は外来語に含めないことが多い。

現代日本語の表記等において問題となるのは、後者の範疇、すなわち漢語を含まない狭義の外来語である。ここには、西欧語のほか、アジアなど各国の言語から入ったもの、さらには、和製英語などの外来語からの造語や、「テレビ」(←テレビジョン)、「パソコン」(←パーソナル-コンピューター)など長い音節の語を四音節以下にしようとして生じた略語も含まれる。これらの、狭義の外来語は、ふつうカタカナで書かれる。以下で扱うのは、この狭義の外来語である。

日本にポルトガル人が漂着したのが1543年、それ以後、日本に渡来する外国人も増え、それに伴い、様々な外国語及び文物が日本に伝来する。「バテレン」「パライズ」「クルス」などのキリスト教関係の語や、「タバコ」「ラシャ」「テンブラ」「ポタン」などの新しい事物の名称などが取り入れられた。この中には、日本人の生活に深く浸透し、外来語としての認識が薄れているものも多く、「合羽(カッパ)」「金米糖(コンペーター)」などの漢字表記や、「たばこ」「ばってら」のようにひらがな表記が行われることもある。

江戸時代、キリスト教の禁圧と鎖国政策により、オランダ一国との交渉だけになったために、オランダ語をもとにした外来語が増大する。「ガラス」「コップ」「ゴム」「ランプ」などの事物のほか、蘭学関係で「カンフル」「コレラ」「メス」などの語が取り入れられた。

明治維新以降、西洋文化の吸収が急激に推し進められる。明治前期には漢語を新たに作り、それによって文物の内容を理解することが行われた。中期以降、外国語の知識の普及とともに、日本語に取り入れられた外来語の数も増加する。このとき、分野によって技術・文化導入の参考とする国が異なったことから、医学用語はドイツ語、芸術用語はフランス語起源のものが多く使われている。同じ軍隊でも、陸軍はフランス、海軍はイギリスという違いを生じた。

第二次大戦後は、アメリカからの用語が増える。初めは米軍関係、あるいは民主化のための各種の用語などが多かったが、その後は、外国語(とくに英語)の知識の大衆化に伴い、あらゆる分野に及んでいる。また、和製漢語の造語力の低下も、外来語の増加に拍車を掛けているといえる。

外来語の表記にはカタカナの使用がふつうであるが、先述のように漢字を用いるものや、「CD」「IOC」のようにアルファベットをそのまま用いるものも存在する。これらの使い分けは慣用によるというほかない。

カタカナ表記をとってみても、そこには表記に「ゆれ」が見られるものがある。カタカナ表記は、もともとの発音に近づけるという着想からなされるが、元来異なる発音体系の中の語を完全にうつすことは不可能であるからである。これらは、(1)語末の「ー」の有無にゆれがあるもの(「コンピュータ」と「コンピューター」など)、(2)促音にゆれがあるもの(「スパゲッティ」と「スパゲティ」など)、(3)原語の二重母音の写し方にゆれがあるもの(「メイン」と「メーン」など)、(4)ア行の小字にゆれがあるもの(「ウイスキー」と「ウィスキー」など)、(5)ヤ行音にゆれがあるもの(「ギリシア」と「ギリシャ」など)、(6)「v」音の写し方にゆれがあるもの(「ヴァイオリン」と「バイオリン」など)にまとめることができる。ただし「v」についても、その原字音には、有声・歯唇音による言語、無声・歯唇音による言語、有声・両唇・破裂音による言語がある。原語の知識を必要とする使い分けは簡単ではない。

これらのゆれは、現代の日本語においてはどちらが正しいということはなく、どちらも慣用として認められている表記である。もちろん一般的には、一つの文章中では統一することが望ましい。このカタカナ表記のよりどころを示したものが、内閣告示「外来語の表記」(1991年)である。ここでは、外来語や外国の地名・人名を書き表すときのカタカナ表記を「一般的に用いる」ものと「原音や原つづりになるべく近く書き表そうとする場合に用いる」ものと分けて掲げられている。

国立国語研究所の発表によれば、1956年当時、外来語が日本語に占める割合は1割未満であったが、1994年には3割強を占めるという。

カタカナによる表記と漢字を用いた略語を比べたとき、前者にスマートな魅力をみる現在の感覚は、好むと好まざるとにかかわらず、一つの傾向として抵抗できない流れといえる。

それらのなかには、外国語をカタカナ書きしただけで、外来語として定着していないものも多数存在する。そのため、外来語と区別して「カタカナ語」ということもある。